REXCEED W16LT G2

ユーザーガイド

UG-REXCEED-W16LT-G2-001
April 2026

www.grassvalley.com

ご注意

(1) 本製品の一部または全部を無断で複製することを禁止します。
(2) 本製品の内容や仕様は将来予告無しに変更することがあります。
(3) 本製品は内容について万全を期して作成しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気付きの点がございましたら、当社までご連絡ください。
(4) 運用した結果については、(3)項にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。
(5) ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む特別、付随的、または派生的損害に対するいかなる請求があったとしても、当社はその責任を負わないものとします。
(6) 本製品付属のソフトウェア、ハードウェア、マニュアル、その他添付物を含めたすべての関連製品に関して、解析、リバースエンジニアリング、デコンパイル、ディスアッセンブリを禁じます。
(7) Grass Valley、グラスバレー、EDIUS、エディウスおよびそのロゴは、グラスバレー株式会社の登録商標です。
(8) Microsoft、Windows は米国マイクロソフト・コーポレーションの登録商標です。
(9) HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。
(10) SD カードは SD Association の商標です。
(11) その他の商品名やそれに類するものは各社の商標または登録商標です。

表記について

■本書での説明と実際の運用方法とで相違点がある場合には、実際の運用方法を優先するものとします。

■本書で使用している画像は開発中のものであり、実際の製品とは異なる場合があります。

■本書は PC の基本的な操作を行うことができる方を対象に書かれています。特に記載の無い操作については、一般的な PC の操作と同様に行ってください。

■本書では、REXCEED W16LT G2 を「REXCEED」と表記します。

■本書では、EDIUS の各シリーズおよびエディションを「EDIUS」と表記します。

■本書では、Microsoft® Windows® operating system を、次のように表記しています。

- Microsoft® Windows® 11 operating system は、Windows 11（Enterprise、Education、Pro、Home の総称）

⚠ 警告

健康上の注意

ごくまれに、コンピューターのモニターに表示される強い光や刺激や点滅によって、一時的にてんかん・意識の喪失などが引き起こされる場合があります。こうした経験をこれまでにされたことがない方でも、それが起こる体質をもっていることも考えられます。こうした経験をお持ちの方や、経験をお持ちの方の血縁にあたられる方は、本製品を使用される前に必ず医師と相談してください。

著作権について

テレビ放送やビデオなど、他人の作成した映像／音声をキャプチャしたデータは、動画、静止画にかかわらず個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。また、個人として楽しむ目的であっても複製が制限されている場合があります。キャプチャしたデータのご利用に対する責任は一切負いかねますのでご注意ください。

REXCEED W16LT G2 ユーザーガイド

Copyright © 2026 Grass Valley K.K. All rights reserved.

目次

安全に関する注意事項 …… 5

1 ご確認

ご使用の前に …… 8
ご使用に当たっての留意事項 …… 8
当社ホームページ …… 8

2 起動

電源を入れる …… 9
REXCEED を起動する …… 9

3 Windows のユーザー名とパスワードについて

ユーザー名とパスワード …… 10

4 リカバリーについて

システムのバックアップイメージを作成する …… 11
バックアップイメージや工場出荷時のシステムイメージから
システムを復元する …… 12
EDIUS のライセンス情報を確認する …… 14

安全に関する注意事項

◇ 絵表示について

本製品を安全に正しくお使いいただくために、以下の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ **警告**	人が死亡または重傷を負う恐れのある内容を示しています。
⚠ **注意**	ケガをしたり財産に損害を受ける恐れのある内容を示しています。

◇ 絵表示の意味

⃠	この記号はしてはいけないことを表しています。
❗	この記号はしなければならないことを表しています。
⚠	この記号は気をつける必要があることを表しています。

設置について

⚠ 警告	
❗	**本製品は安定した場所に設置してください。** 本製品が倒れたりすると本製品の損傷やけがの原因となります。
⃠	**温度が高くなるところに設置しないでください。** 直射日光の当たるところや発熱する器具の近くなどに置くと火災や故障の原因となります。また、本製品が変形、変色するおそれがあります。
⃠	**湿気や油気の多い場所では使用しないでください。** 回路がショートし、感電するおそれがあります。
❗	**アースは必ず取ってください。** 感電の防止になります。
⃠	**AC100V コンセント以外の電源には接続しないでください。** 機器の破損の原因となります。
❗	**プラグは根元まで確実に差し込んでください。** 差し込みが不完全な場合、感電や発熱による火災の原因となります。
⚠	**たこ足配線はしないでください。** 火災の原因となります。
⃠	**ぬれた手でケーブルの脱着をしないでください。** 感電および故障の原因となります。
⚠	**プラグは定期的に清掃してください。** プラグにほこりなどがたまると、絶縁不良などにより火災の原因となります。
⃠	**ケーブルの加工はしないでください。** ショートして火災や感電の原因となります。

⚠ 注意
通風孔をふさがないでください。 筐体内部に熱がこもり、故障の原因となります。
極低温、極高温、高湿度の環境で使用しないでください。 機器を破損するおそれがあります。
ほこりが多い場所では使用しないでください。 ほこりが通風孔や内部につまると故障の原因となります。
長期間使用しない場合はコンセントを抜いてください。 火災の防止になります。
ケーブルを抜き差しする場合は、必ず根元のプラグを持ってください。 断線の防止となります。
ケーブルの上にものを載せないでください。 断線して火災の原因となります。
本製品を移動する場合は、必ず電源を切り、プラグを抜いてください。 電源を入れたまま移動すると故障の原因となります。
ケーブル類の設置場所にご注意ください。 ケーブル類に引っかかると本製品が転倒したり落下し、機器を破損するおそれがあります。また、落下した本製品でけがをするおそれがあります。ケーブル類を踏むと断線し、火災の原因となります。
製品付属のケーブル以外は使用しないでください。 火災や機器を破損するおそれがあります。

ご使用について

⚠ 警告
煙が出たり、異臭が漂う場合は、すぐに電源を切りプラグを抜いてください。 本製品が故障しています。そのまま使用していると、爆発・火災の原因となります。
本製品が物理的・機械的に故障していると思われる場合は、すぐに使用を中止してください。 そのまま継続して使用すると、爆発・火災の原因となります。
ぬれた手で機器に触れないでください。 感電および故障の原因となります。

⚠ 注意	
	**本製品の上に重いものを載せないでください。** 筐体が変形するおそれがあります。
	**本製品の上に水などの入った容器や金属物を置かないでください。** 水などがこぼれたり、クリップなどの異物が内部に入った場合、火災、感電の原因となります。
	**本製品に衝撃を与えないでください。** 破損の原因となります。
	**不用意に端子類に触れないでください。** 故障や感電の原因となります。
	**お手入れの際は電源を切ってください。** 接続する時やお手入れの際は電源プラグを抜いてください。感電や製品故障の原因となります。お手入れの際は、シンナーなどの揮発性の溶剤を使用しないでください。

Section 1

ご確認

ご使用の前に

ご使用に当たっての留意事項

ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む間接損害に対するいかなる請求があったとしても、当社はその責任を負わないものとします。
製品本来の使用目的および、当社が推奨する使用環境下以外での本製品の動作保証は、一切いたしかねます。また、仕様などを変更してご使用の場合、本製品の動作保証は一切いたしかねます。
本製品を使用して、他人の著作物（例：CD・DVD・ビデオプログラム等に収録されている、あるいはラジオ・テレビ放送またはインターネット送信によって取得する音声・映像）を録音・録画する場合の注意点は、下記の通りになります。

- 著作物は、個人的にまたは家庭内その他これに準ずる限られた範囲内において使用することを目的とするときで、その使用するものが複製または編集をする場合等を除き、その複製または編集等が著作権を侵害することがあります。収録媒体等に示されている権利者、または権利者団体等を介するなどの方法により、著作権者から許諾を受けて、複製または編集等を行う必要があります。
- 他人の著作物を許諾なく複製または編集等をして、これを媒体に固定して有償・無償を問わず譲渡すること、またはインターネット等を介して有償・無償を問わず送信すること（自己のホームページの一部に組込む場合も同じ）は、著作権を侵害することになります。
- 本製品を使用して作成・複製・編集される著作物またはその複製物につきましては、当社は一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください

著作権侵害の可能性は、使用環境によって異なりますので、事前にお客様の顧問弁護士に確認されることをお勧めいたします。

当社ホームページ

本製品をはじめとする当社最新情報をホームページにて発信しています。最新の業務向け製品から EDIUS の活用方法まで、幅広く公開していますので、当社ホームページにぜひアクセスしてください。

- https://www.grassvalley.com/
- https://www.ediusworld.com/

Section 2

起動

電源を入れる

REXCEED を起動する

REXCEED に周辺機器を接続した後、下記の手順で REXCEED を起動してください。

1 周辺機器の電源を入れる

接続している周辺機器の電源を入れます。

2 REXCEED の電源ボタンを押す



編集環境が整った後は、必ずシステムバックアップを行ってください。

EDIUS を使用する場合、起動後に、必要に応じてプロジェクトを作成してください。その後、プロジェクトの編集を行う前に、Section 3「リカバリーについて」を参照してシステムバックアップを行ってください。

リカバリーについて▶ P11

Section 3

Windows のユーザー名とパスワードについて

本製品にインストールされている Windows の初期ユーザー名とパスワードは以下の設定となっています。

◆ ユーザー名とパスワード

ユーザー名	TKAdmin
パスワード	adminTK!

工場出荷時の状態にリカバリーした場合も、上記の設定となります。

Section 4

リカバリーについて

デバイスプリセットの新規登録、プロファイルの作成など、ご使用の環境に合わせてEDIUS の設定を終えた後、必ずシステムのバックアップイメージを作成してください。システムのバックアップイメージを作成しておくと、万一システムがクラッシュした場合でも、ご使用の環境に戻すことができます。

システムのバックアップイメージを作成する

ご注意

- 使用するリカバリ用 USB メモリはご購入いただいた製品に添付しています。リカバリ用 USB メモリは製品ごとに固有のものですので、紛失や取り違えがないようにご注意ください。
- バックアップイメージの保存先には、外部ディスクドライブを使用してください。

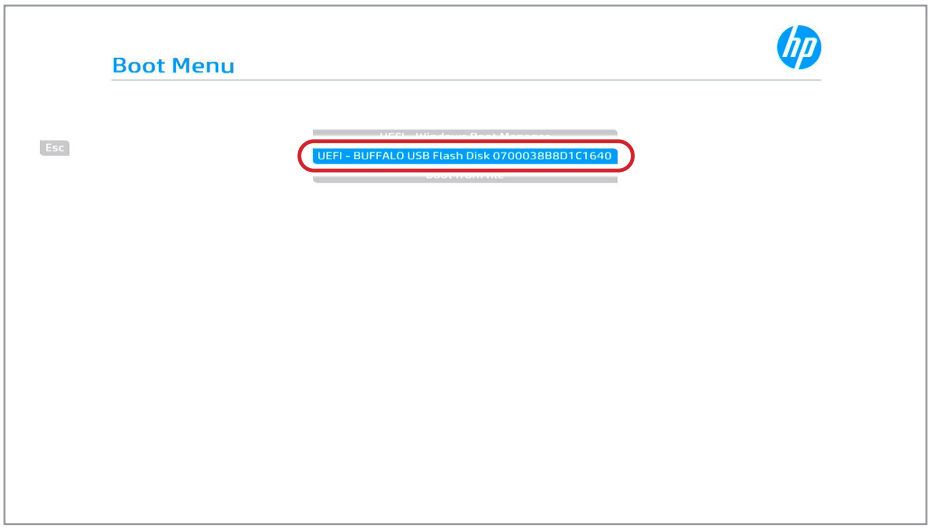
1 **電源がオフの状態で、USB 端子にリカバリ用 USB メモリと、バックアップを保存する外部ディスクドライブを接続する**

2 **電源ボタンを押して起動する**

3 **画面にメーカーロゴが表示されたら、キーボードの［F9］キーを押す**

※ ロゴは長時間表示されませんので、起動時にキーを押す準備をお勧めします。

4 **ブート選択画面が表示されるので、リカバリ用 USB メモリを選び、キーボードの［Enter］キーを押す**



5 **［Turnkey Maintenance Utility］が起動したら、［システムバックアップの作成］を選び、［次へ］ボタンをクリックする**

以降は画面の指示に従い、バックアップ対象のディスクやバックアップイメージ保存先のディスクを選択して進めてください。

ご注意
- 以降はマウス操作にて進めてください。

6 バックアップ完了後、[終了（シャットダウン)] ボタンをクリックする

システムが終了し、電源が切れます。電源が切れた後、リカバリ用 USB メモリと外部ディスクドライブを取り外してください。

ご注意
- バックアップイメージとして、指定した外部ディスクドライブに自動生成された名前でフォルダが作成され保存されます。フォルダ名は必要に応じて変更してください。
- フォルダ内のファイルのリネームや削除を行うと、正常にバックアップイメージとして認識できなくなります。別のディスクドライブに移動する場合、必ずフォルダ内のファイルを維持したまま移動してください。

バックアップイメージや工場出荷時のシステムイメージからシステムを復元する

外部ディスクドライブに保存したバックアップイメージや工場出荷時のシステムイメージを使用してシステムを復元します。

ご注意
- 使用するリカバリ用 USB メモリはご購入いただいた製品に添付しています。リカバリ用 USB メモリは製品ごとに固有のものですので、紛失や取り違えがないようにご注意ください。
- 工場出荷時のシステムイメージは、使用するリカバリ用 USB メモリに保存されています。
- システムの状態によって DATA パーティションを含めてすべて初期化される場合があります。必ず必要なデータに対して事前に外部ディスクドライブへのコピーなどを行った後に復元手順を実施してください。

1 電源がオフの状態で、USB 端子にリカバリ用 USB メモリを接続する

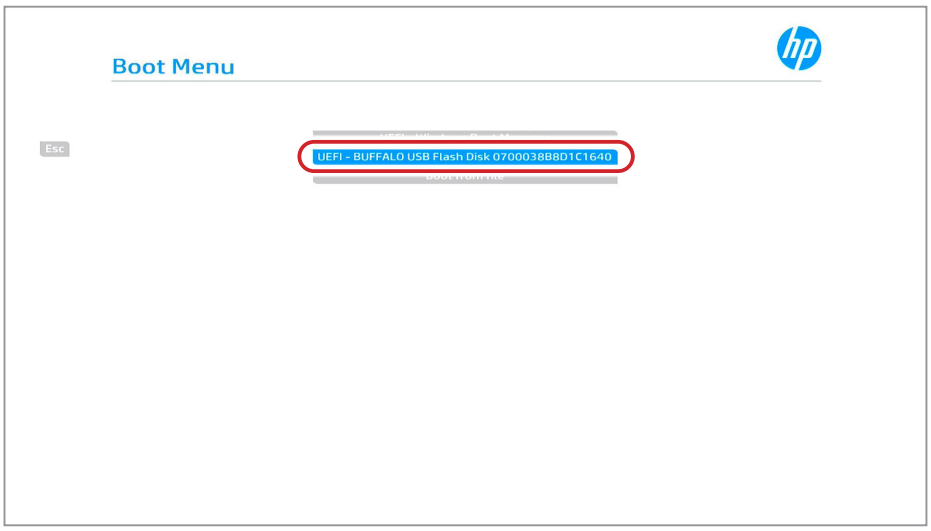
作成したバックアップイメージから復元する場合は､バックアップを保存している外部ディスクドライブも接続してください。

2 電源ボタンを押して起動する

3 画面にメーカーロゴが表示されたら、キーボードの［F9］キーを押す

※ ロゴは長時間表示されませんので、起動時にキーを押す準備をお勧めします。

4 **ブート選択画面が表示されるので、リカバリ用 USB メモリを選び、キーボードの［Enter］キーを押す**



5 **［Turnkey Maintenance Utility］が起動したら、［システムの復元］を選び、［次へ］ボタンをクリックする**

以降は画面の指示に従い、復元対象のディスクやバックアップイメージを選択して進めてください。

ご注意
- 以降はマウス操作にて進めてください。

6 **復元完了後、［終了（シャットダウン）］ボタンをクリックする**

システムが終了し、電源が切れます。電源が切れた後、リカバリ用 USB メモリを取り外してください。外部ディスクドライブを接続している場合はそちらも取り外してください。

7 **電源ボタンを押して起動する**

ご注意
- バックアップ作成後に OS のバージョンアップを行った場合や、システムの状態によっては、システム領域のみ復元した後に起動するとエラーが発生する場合があります。その場合は再度復元手順を行い、［システム領域のみ復元する］のチェックを外してシステムディスク全体を復元してください。

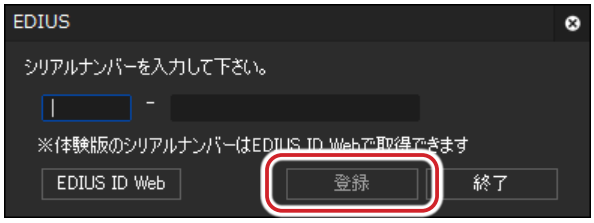


EDIUS のライセンス情報を確認する

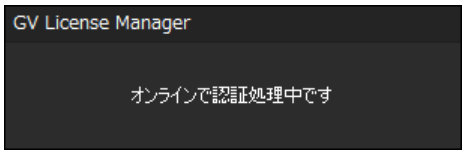
リカバリーを行うと、EDIUS のライセンス情報がクリアされる場合があります。
リカバリー後 EDIUS を起動した際、手順 1 のような画面が表示された場合は、以下の手順でライセンスを再認証してください。

1 EDIUS の再認証が必要な場合、下記の画面が表示されるので、添付されている EDIUS のシリアル番号を入力して［登録］をクリックする

認証には、インターネット接続が必要です。
シリアル番号は、本体に貼付されているシールもしくは付属品をご確認ください。



オンラインで認証処理が行われます。



2 ［OK］をクリックする



正しく認証が行われ、EDIUS のライセンス情報が再構成されました。

POINT

- オンライン認証ができない環境の場合、GV LicenseManager を使ったオフライン認証の機能をご利用ください。詳しくは EDIUS のマニュアルを参照してください。